



# 第48回 洞爺湖マラソン 2022 開催

1

**洞** 爺湖の春の風物詩が帰ってきました。新型コロナウイルスの影響で2019年の第45回大会以降、中止やオンライン形式での開催となっていた洞爺湖マラソン。今年は3年ぶりに全国のランナーが集結し、約1300人が湖畔のコースを駆け抜けました。

今回は、洞爺湖温泉から月浦経由で洞爺地区を結ぶコースを往復する全長21・1キロのハーフマラソン。密集を避けるため、全3組に分かれた



2

上で時間差を設けて出走するウェーブスタート方式を採用しました。受付での体調確認やスタート直前までのマスク着用、ゴール後の手指消毒など感染症対策も徹底しました。ランナーは緑豊かなコースを快走。向かい風となった復路を走り抜き、ゴールに着いた後は一様にさわやかな笑顔を浮かべていました。コロナ禍に負けず、およそ半世紀におよぶ歴史をつないだ洞爺湖マラソン。町にぎわいが戻った1日となりました。



4



3

〈写真説明〉①勢いよくスタートを切るランナー②受付で綿密に体調チェック③スタート3分前の合図でマスクを取るランナー④ゴール後すぐに手指消毒



〔写真説明〕①スタート前のランナー②湖畔沿いに伸びるコース③洞爺湖を背に快走④走りを競い合うランナー⑤給水地点で水分補給⑥洞爺地区の折り返し地点⑦力強く応援するギャラリー⑧ランナーをねぎらうボランティア





## 狙いどおりの初優勝

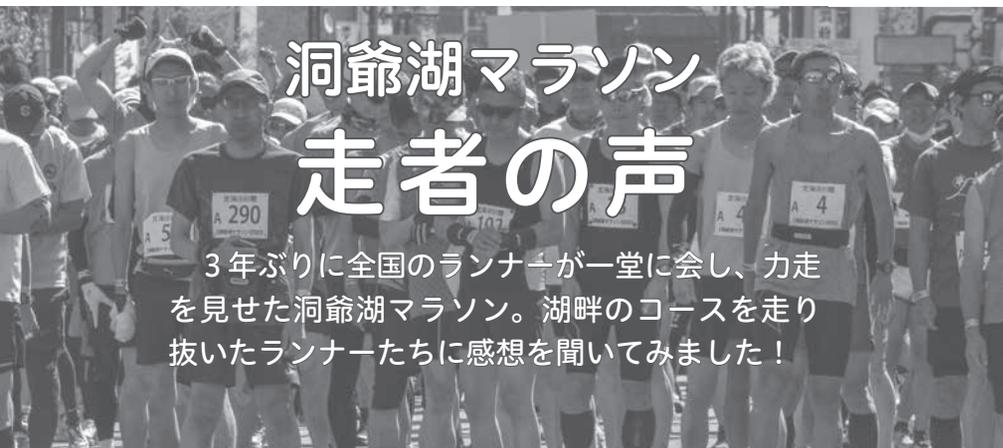
門出 康孝さん (30 歳) =千葉県=

「優勝が目標だったので達成できてうれしいです。思ったより風が強く、タイムは1時間8分17秒。好記録ではありませんが、6、7キロ地点から狙い通り独走態勢に入れました。コロナ禍でなかなか大会にも出られませんでした。洞爺湖は走りやすく景色のきれいなコースだったので楽しんで走れました。来年はフルマラソンに出場したいです！」

## 応援を力に女子優勝

阿萬 香織さん (34 歳) =富良野市=

「洞爺湖マラソンは2度目の出場です。2019年に出場してからずっと中止になっていたのが楽しみにしていました。コースでは温かい声援を掛けてもらったおかげで、自己ベストの1時間27分46秒でゴールできました。景色も最高にきれいで走りやすかったです。富良野市で運動施設を運営しているので、練習を続けて来年も出場したいです」



3年ぶりに全国のランナーが一堂に会し、力走を見せた洞爺湖マラソン。湖畔のコースを走り抜いたランナーたちに感想を聞いてみました！



## 初出場・初完走

マイケル・ローランドさん (34 歳) =ニセコ町=

「洞爺湖マラソンはいつか出場したいと思っていました。前半で速く走り過ぎてしまって疲れましたが、良い風が吹いて最高の気分で走れました。故郷のオーストラリアから日本に来て10年ほどが経ちます。故郷も良い所ですが、洞爺湖も自然がすごく美しいですね」

## 親子で快走

吉田俊貴さん (55 歳) =旭川市=

悠人さん (20 歳) =室蘭市=

俊貴さん「息子と走ることが目標でした。4月ごろから本格的に練習を始め、2人で完走できました。次の目標はフルマラソンです！」 悠人さん「今回が初めてのマラソン。前半は楽しかったですが、後半は苦しかったです。体力をつけてまた戻ってきたいです」

